

道徳教育法

(2 単位)

専門 > 教育学部（全入学年度対象） > 基礎理解に関する科目等

2 年、3 年、4 年 前期
集中講義半原 芳子 (yoshikoh@u-fukui.ac.jp、福井大学教育学部附属義務
教育学校内（2 階）、金曜日 10：00～12：00、実務経験：その他）

浦井 寿尚

加藤 正弘

岸野 麻衣 (実務経験：その他)

隼瀬 悠里 (y-hayase@u-fukui.ac.jp、教育 1 号館 6 階、火曜日
12 時～13 時)宮本 雄太 (yuta-mt@u-fukui.ac.jp、0776-27-8789（内線：
2541）、教育系 1 号館 6 階、実務経験：学校等、官公庁）

柳澤 昌一 (yanagi@edu00.f-edu.fukui-u.ac.jp)

山本 晃市

YASMINE SAMY GAMALELDIN MOSTAFA

■ナンバリングコード

05-TTM-201 教育学部 学校教育課程 / 道徳、総合学習、生徒指導、教
育相談〔2 年次レベル〕

■授業概要

道徳性と道徳教育をめぐる議論と実践の歴史的な展開を辿るととも
に、道徳性の発達とそれを支える学習のプロセスについて、実践記
録にもとづき検討し、学校における道徳教育の課題とその編成につ
いて探究を進める。

■到達目標

道徳性と道徳教育をめぐる問いを深め、道徳性の発達とそれを支え
る学習のプロセスについて探究するための基本的な視点・フレーム・
アプローチを、実際の協働探究の展開を通して学ぶ。

■授業内容

Cycle1 道徳性への問い：自律の創成

第 1 回：道徳性をめぐる歴史的な概観

第 2 回：近代における道徳哲学の転換

第 3 回：現代民主主義における道徳性への問い

Cycle2 道徳教育をめぐる議論の展開

第 4 回：戦後日本における道徳教育をめぐる議論の展開

第 5 回：公教育の目的と「考え議論する道徳」求められる道徳教育
その基本的方向性

Cycle3 道徳性の発達

第 6 回：道徳性の発達をめぐる理論の概観

第 7 回：道徳性の発達段階 ピアジェ・エリクソン・コールバーグ

cycle4 道徳性の発達を支える学習プロセスへの問い

第 8 回：学校生活における協働活動を通じた道徳性の形成 その基
本的視点

第 9 回：協働活動の発展と道徳性① 実践事例の検討（小学校）

第 10 回：協働活動の発展と道徳性② 実践事例の検討（中学校）

Cycle5 道徳の授業：〈考え議論する道徳〉への企図

第 11 回：授業の構想 先行事例の検討①

第 12 回：授業の展開 先行事例の検討②

第 13 回：授業の評価と省察 先行事例の検討③

Cycle6 道徳教育における評価

第 14 回：道徳教育における評価の問題

Cycle7 教育と教師の力量形成

第 15 回：〈考え議論する道徳〉と教師の力量形成

■準備学習（予習・復習）等

事前課題、授業内における議論を踏まえた各サイクルのレポートが
必要となる。

■授業形式

グループによる協働探究を中心に進める。

■成績評価の方法

各サイクルごとの小レポート及び最終レポートによる。

■教科書・参考書等

授業ごとに、必要な資料を配付する。

参考書・参考資料等

シュナイウィンド『自律の創成：近代道徳哲学史』法政大学出版会、
ロールズ『哲学史講義』（みすず書房）、カント『道徳形而上学原論』
『道徳哲学』『実践理性批判』（岩波書店）ハーバーマス『道徳意識と
コミュニケーション行為』（岩波書店）エリクソン『洞察と責任』（誠
信書房）ほか

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング科目

■授業形態

オンライン授業－リアルタイム型